

# コザ快勝 8年ぶり頂点

## ハンド県高校選手権

ハンドボールの第57回県高校選手権最終日は18日、八重瀬町貝志頭社会体育館で男女決勝が行われ、男子は興南が那覇西を33-23で下し、新型コロナウイルス感染拡大による2年間の中止を挟み、14年連続36度目の優勝を果たした。

女子はコザが浦添を32-19で破り、8年ぶり5度目の頂点に立った。

【男子】  
▽決勝  
興南 33(18-14)23 那覇西

【女子】  
▽決勝  
コザ 32(17-8)19 浦添

## 序盤10連続得点で流れ

女子コザは、前半3分過ぎからの10連続得点で主導権を握ると、後半も得点を重ね、32-19の大量リードで浦添を下し、頂点に立った。

守っては、GKの仲松歩花が好セーブを連発。直後に、山城里菜ら前線にボールを供給し、次々と速攻が決まった。仲松は「DFにもかなり助けられた。守備からの速攻は狙い通りの展開だった」と胸を張った。チーム最多6得点の山城は、中学時代に県大会で走り幅跳びの大会記録をマークするなど、高い身

体能力を誇る。「ボールを持ったら絶対に決めようと思っていた。常に速攻を意識していたので、決められて良かった」と喜んだ。

新チームになって最初の大会。先輩は全国総体8強まで進んだ。全国の舞台を経験した主将の宮城愛澄は「守りから速攻につなげていく、コザの伝統を引き継いでいきたい」と話す。その上で「走力も技術もまだまだ」と課題を挙げた。新チームの目標は「先輩の成し得なかった九州制覇と日本一」と飛躍を誓った。(平良吉弥)

ハイライト

女子を制したコザ



後半、コザのGK仲松歩花(右)が相手シュートを左足で止める



女子決勝 コザ 浦添 前半、コザの山城里菜(6)がシュートを放つ(貝志頭社会体育館(竹尾智勇撮影))

## 興南、貫禄V14



男子決勝 興南-那覇西 後半、興南の比嘉優太郎がシュートを放つ

男子は自力に勝る興南が14連覇を果たした。前半中盤までは激しく競り合い、那覇西にリードを許す場面もあったが、前半20分過ぎに、比嘉優太郎の連続得点で逆転。18-14の4点差で折り返すと後半も得点を重ね、10点差の33-23で勝利した。

比嘉は前半から那覇西の1年生エースで、浦添中の後輩、石原直弥を徹底マーク。「石原を止めないと勝てない。後輩には負けられない」。4得点されたが、粘り強く食らい付き、抑え込んだ。前半、競り合いから抜け出す、2連続シュートを決めた。「自分たちのペースに持ち込むことができた」と喜んだ。



主将の洲鎌史成は「守備連係など課題も多く見つかった」と反省も忘れなかった。新チームの目標は全国4強以上。「守備からの速攻を強化していきたい」と前を見据えた。

男子優勝の興南